

コロナ禍における米価下落対策を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を背景に、国が緊急事態宣言を発令し、外出自粛要請や営業時間の短縮要請などが行われ、中食・外食産業を中心に大きな影響を受けた。このような中、国産米の需要は減少に歯止めがかからず過大な在庫が生じており、令和3年度産米も含め米価下落が現実の問題となっており、生産農家は苦境に立たされている。

また、今年度においては、政府が進める減産以上に古米在庫が増加する見込みであり、長期間にわたって米価の下落が続けば、小規模農家だけでなく、大規模経営の生産農家も米づくりから撤退することにつながりかねない。

長期化するコロナ禍で今後さらに予期せぬ米の需要の減少も懸念される。このため、コロナ禍において必要性が高まっている子ども食堂をはじめ、生活困窮者や学生などへの食糧支援の更なる強化、また用途転換や商品開発など従来の政策的枠組みにとらわれることなく、備蓄米を有効に活用すること等によって在庫を圧縮し、生産農家を支援することが緊急に求められている。

よって、本市議会は、稲作生産者の不安を払しょくし、今後の経営継続を維持・支援するため、コロナ禍の需要減少による「過剰在庫」分を国が政策的に対処するなど、米価下落に歯止めをかけ、需給環境を改善するために、あらゆる手段を講じるよう強く要望する。

以上のとおり、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月22日

島根県雲南市議会